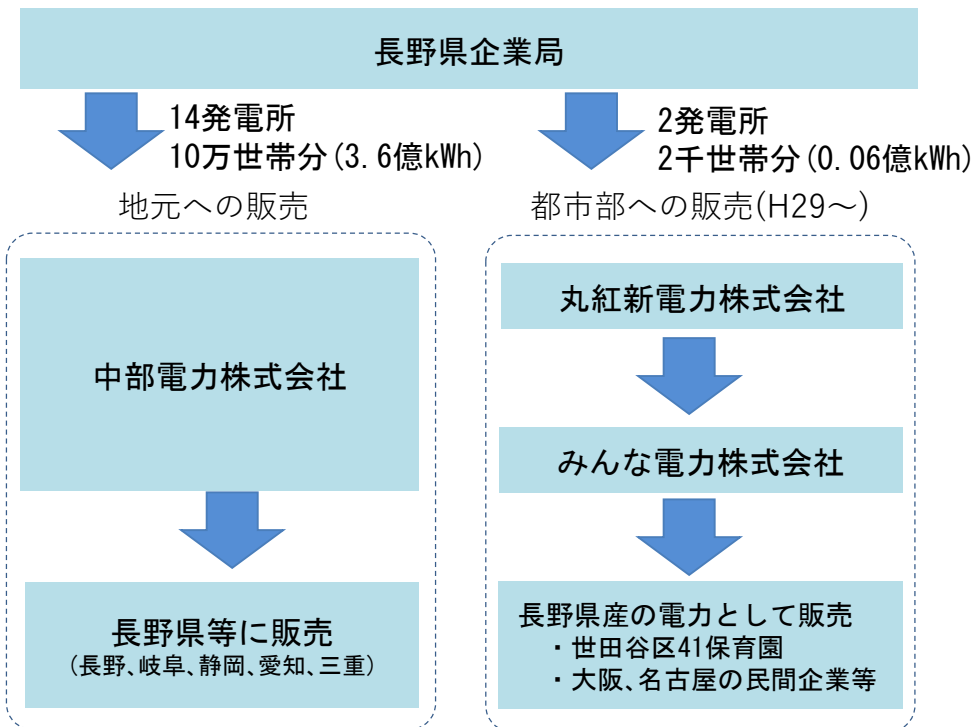


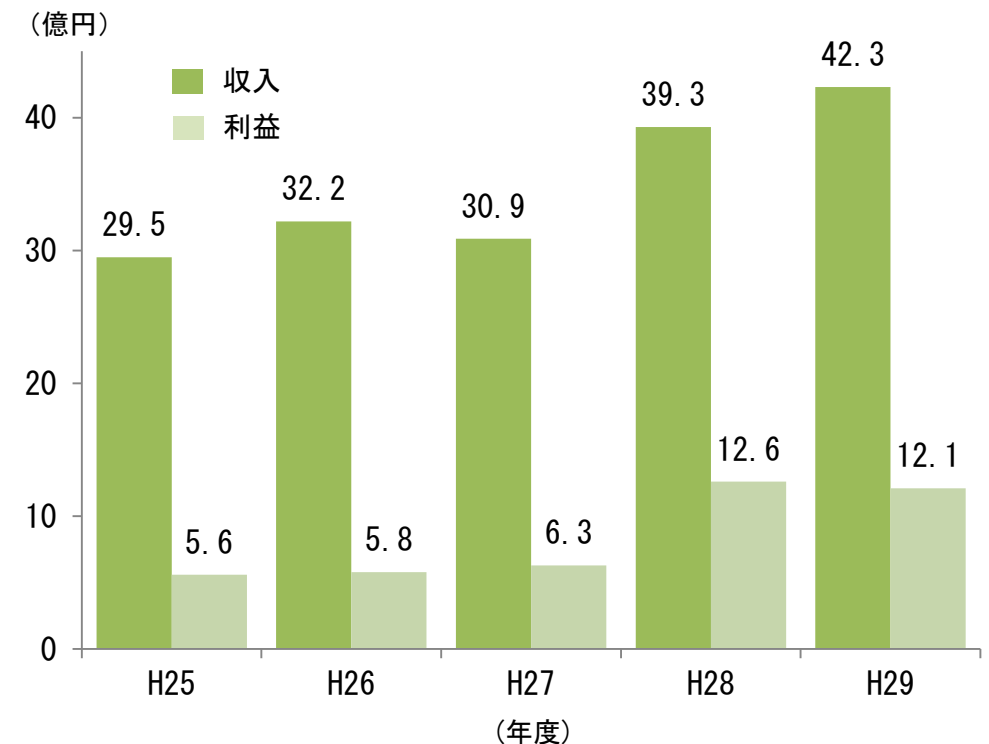
長野県企業局の紹介

- 長野県企業局は、長野県が経営する独立採算の事業体。発電事業と水道事業を経営。
- 発電事業では、水力発電所の建設及び維持管理と、発電した電気の販売を行う。
- 1958年から事業を開始。現在、16の発電所において、年間10万2千世帯分(3.7億kWh)を発電。
- 2016年度の収入40億円、利益12.5億円。2017年度は収入42億円、利益12億円を見込む。

<電力販売スキーム>



<収入と利益の推移>



長野県と都市部をつなぐ電力販売（長野県企業局）

- ・新規2発電所（高遠及び奥裾花第2）の電力を、大都市へ販売。
- ・需要家は、応援したい発電所を選び、電力を購入。料金の一部を応援料（100円/月）として発電所に還元。
- ・応援料は、需要家に対する発電所や立地地域の見学ツアーなどに活用。
- ・平成29年4月1日より、世田谷区立保育園41園等への電力販売を実施。

〈長野県企業局〉



高遠発電所（高遠さくら発電所）（伊那市）
（出力180kW 約350世帯分を発電）



奥裾花第2発電所（水芭蕉発電所）（長野市）
（出力980kW 約1,400世帯分を発電）

電力販売

買取料金

応援料

丸紅新電力株式会社



・安定した販売実績

連携

みんな電力株式会社（東京都世田谷区）

ソーシャル・エネルギー・カンパニー

みんな電力

・トップクラスの再生エネルギー比率

〈都市部の需要家〉

【法人顧客】

○世田谷区立保育園41園



○大阪・名古屋の民間企業



【個人顧客】



自然エネルギーを
導入したい家庭

電力販売

電気料金
（応援料
を含む）

電力販売の利益の一部

県政発展（こどもの未来支援、
省エネルギー支援等）に活用

発電所や立地地域の見学ツアー、物産展など